平成19年10月29日

各 位

会 社 名　日 本 化 成 株 式 会 社
代表者名　取締役社長　松 永 正 大
(コード番号 4007東証一部)
問合せ先　総務経理部長 藤 森 直 哉
(TEL: 03-5540-5863)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1)連結　(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年8月1日発表)	24,200	980	1,000	390
今回修正予想(B)	24,600	1,550	1,600	700
増減額(B－A)	400	570	600	310
増減率	1.7%	58.2%	60.0%	79.5%
前期(平成19年3月中間期) 実績	24,102	685	711	※1　446

※1 平成19年3月中間期の当期純利益には、過年度未払法人税等戻入額107百万円が含まれております。

(2)個別　(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成19年8月1日発表)	18,500	850	970	370
今回修正予想(B)	18,900	1,400	1,650	800
増減額(B－A)	400	550	680	430
増減率	2.2%	64.7%	70.1%	116.2%
前期(平成19年3月中間期) 実績	18,013	530	617	※2　416

※2 平成19年3月中間期の当期純利益には、過年度未払法人税等戻入額105百万円が含まれております。

2.　通期の業績予想の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1)連結　　(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月11日発表)	49,000	2,030	2,050	1,000
今回修正予想(B)	49,000	2,600	2,750	1,250
増減額(B－A)	－	570	700	250
増減率	－	28.1%	34.1%	25.0%
前期(平成19年3月期)実績	51,013	2,073	2,145	※1　1,101

※1　平成19年3月期の当期純利益には、過年度未払法人税等戻入額107百万円が含まれております。

(2)個別　　(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年5月11日発表)	37,000	1,680	1,700	790
今回修正予想(B)	37,000	2,250	2,500	1,100
増減額(B－A)	－	570	800	310
増減率	－	33.9%	47.1%	39.2%
前期(平成19年3月期)実績	37,241	1,567	1,656	※2　857

※2　平成19年3月期の当期純利益には、過年度未払法人税等戻入額105百万円が含まれております。

3.　修正の理由

中間業績につきましては、無機化学品事業部門、機能化学品・化成品事業部門の全般において、主として電子材料関連需要が堅調に推移したことにより販売量が増加したこと、メタノールの海外市況が上半期前半において予算想定を大幅に下回って推移したことにより売買スプレッドが一時的に改善したこと、エンジニアリング事業部門において下半期に予定していた大型案件の検収時期が上半期に前倒しとなったこと、上半期に支出を予想していた一部経費が下半期に支出することになったこと等により、前回発表(平成19年8月1日)に比べ、売上高、営業利益、経常利益、中間純利益がいずれも増加する見通しとなりました。

通期業績につきましては、原燃料価格の高止まり傾向の長期化が懸念されること、アンモニアの市況及び電子材料関連需要の先行きが不透明であること、メタノールの海外市況が再び高騰しており売買スプレッドが大幅に悪化する見込みであること等により、当上半期に比べ収益の悪化が見込まれるものの、前回発表(平成19年5月11日)に比べ、営業利益、経常利益、当期純利益がいずれも増加する見通しとなりました。

※　上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以 上